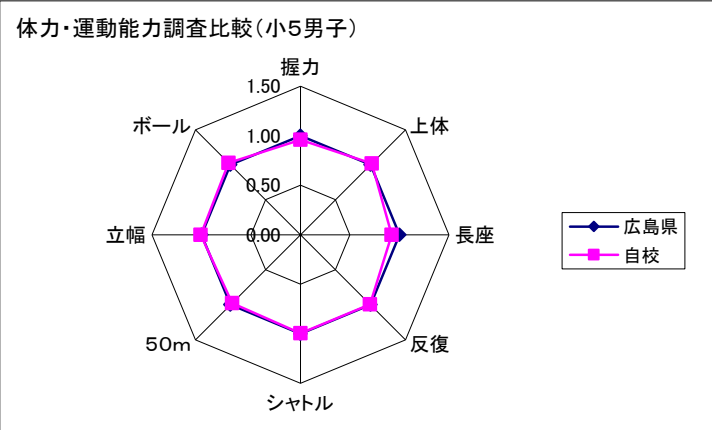
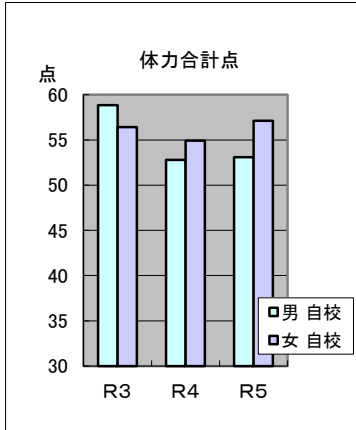
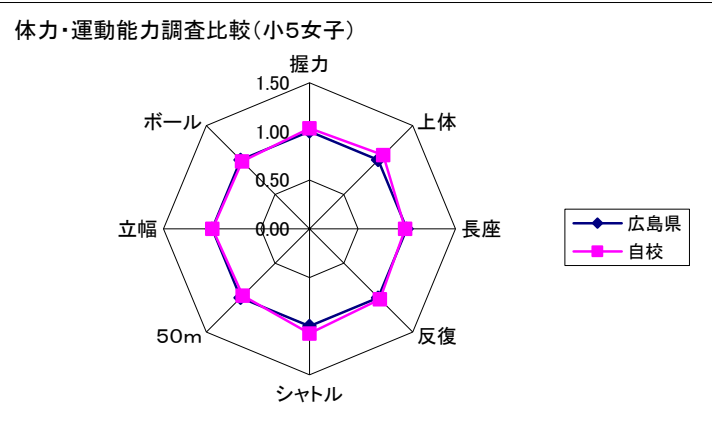


男子の体力合計点 学校 53.10点 県平均 54.16点



女子の体力合計点 学校 57.1点 県平均 56.22点



R4体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)
 ・男子は6学年中1学年, 女子は6学年中2学年において県平均値を超える児童の割合が50%を下回った。昨年度の自校の結果と比較すると, 県平均値を下回る学年は減少した。
 ・コロナ禍の制限が緩まり, 運動の機会が増えている。

②20mシャトルラン(中学校区の課題種目)
 ・男子は6学年中3学年, 女子は6学年中5学年において県平均値を超える児童の割合が50%を下回った。
 ・持久力をあげる取組が3学期にかたよっていること, 持久力がある児童とない児童の格差が大きくなっていることが要因と考えられる。

③ソフトボール投げ(自校の課題種目)
 ・男子女子ともに, 6学年中1学年しか県平均を超える児童の割合が50%を上回らなかった。
 ・ボールを投げる機会や経験が少ないことが結果に反映されている。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・スポーツ委員会でダッシュリレー大会などを開催する。 ・体育の授業の始めに, 短距離のダッシュ運動を取り入れる。 ・「くれチャレンジマッチスタジアム」の記録測定, 更新に積極的に取り組む。
②中学校区の課題種目 (20mシャトルラン)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・体育朝会で, 短縄の持久跳びやペース走を取り入れる。 ・持久走大会に向けての取組を全校で行う。 ・自校で取り入れている体育ノートを活用し, 児童に自分の目標回数をもたせる。 ・5月よりも3回伸ばすことを10月の目標とするなど具体的な数値目標を設定させる。
③自校の課題種目 (ソフトボール投げ)	具体的な取組内容 ・体育朝会でタオル振りやタオルキャッチなどの種目を取り入れる。 ・「くれチャレンジマッチスタジアム」のシャトルスローリレーを学級ごとに継続して取り組む。 ・スポーツ委員会による的当て大会を開催する。

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)